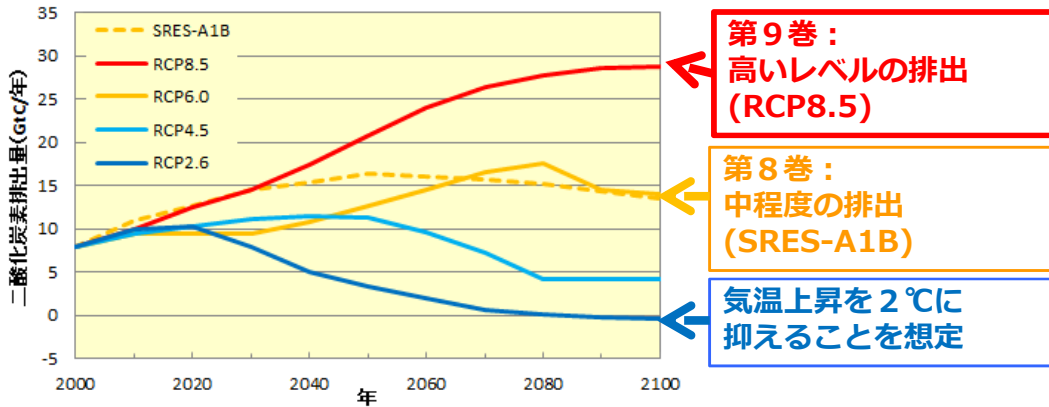


21世紀末の気候の予測について



本リーフレットの予測は、二酸化炭素など温室効果ガスの排出削減対策が現状程度のみで今後ほとんど進まず、地球温暖化が最も進行する場合の想定に基づく21世紀末の徳島県の気候予測です。

予測に際しては、国連の「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」が2013年に公表した第5次評価報告書で採用した4つの温室効果ガス排出シナリオの中で最も排出量の多い「RCP8.5シナリオ」(図中の赤線)に基づいて、気候予測モデルを用いたコンピュータシミュレーションを実施しました。

将来気候・現在気候・平年値について

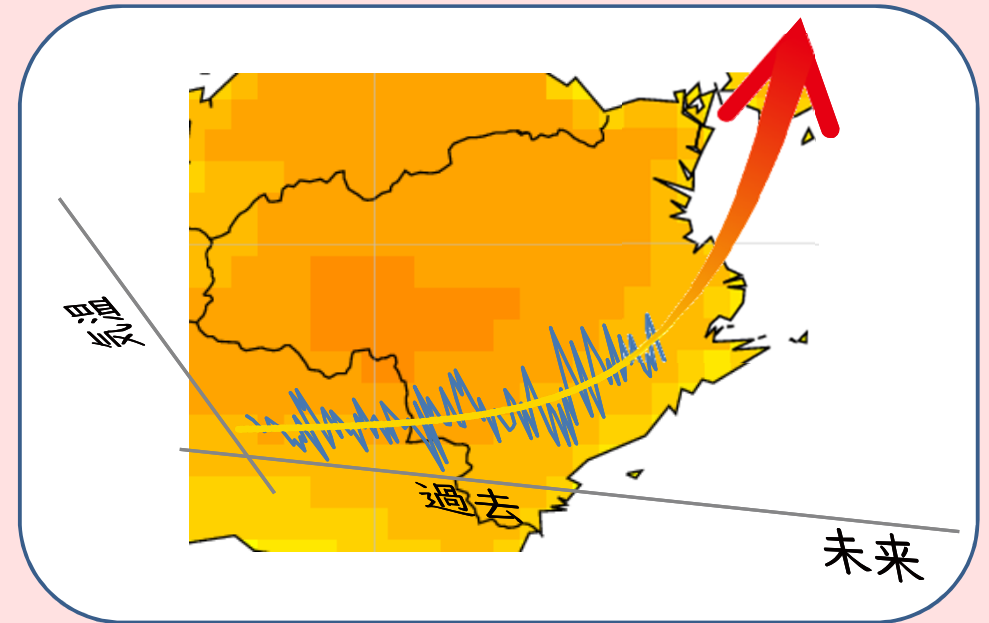
将来気候 気候予測モデルによる21世紀末(2076~2095年)における気候の予測結果です。

現在気候 気候予測モデルが再現した20世紀末(1980~1999年)の気候です。実際の観測に基づく値とは異なります。

平年値 1981~2010年までの平均値で、実際の観測に基づく値です。

徳島県の21世紀末の気候

地球温暖化が最も進行する場合の
気温や降水の予測



徳島県の気候変動に関する情報(徳島県版)

<https://www.jma-net.go.jp/tokushima/ondanka%20hp/index.html>

地球温暖化予測情報第9巻(全国版)

<https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/GWP/index.html>



徳島地方気象台

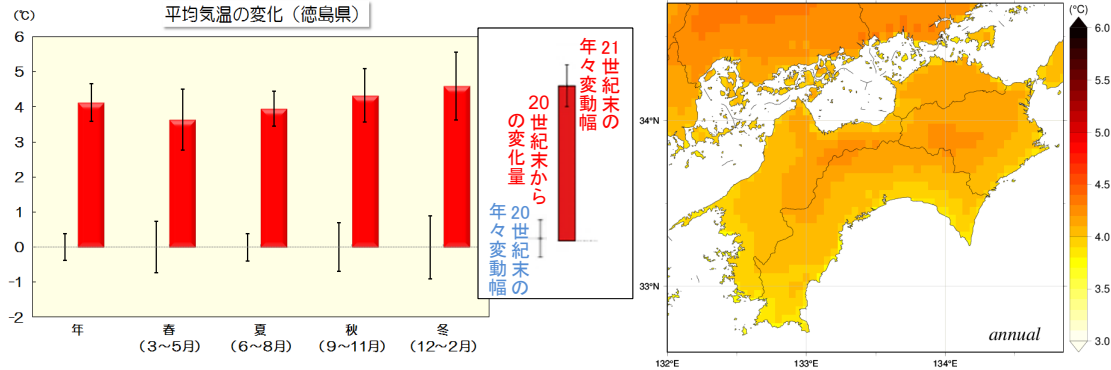
地球温暖化が最も進行する場合の

気温の予測

▷徳島県では年平均気温が100年で約4℃上昇

※徳島市ですでに年平均気温が100年あたり1.4℃上昇しています(統計期間:1892~2017年)

年平均気温上昇量の分布図



徳島市の年平均気温は現在の種子島(鹿児島県)より高くなります。

現在の年平均気温の平年値 徳島市:16.6℃ 種子島:19.6℃

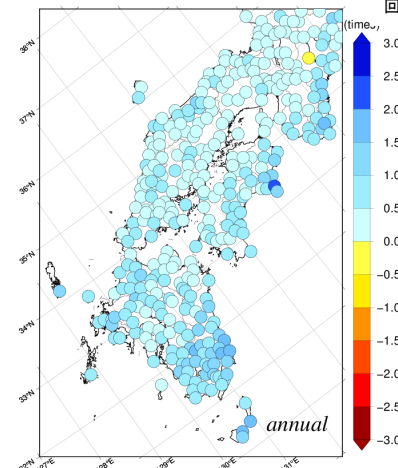
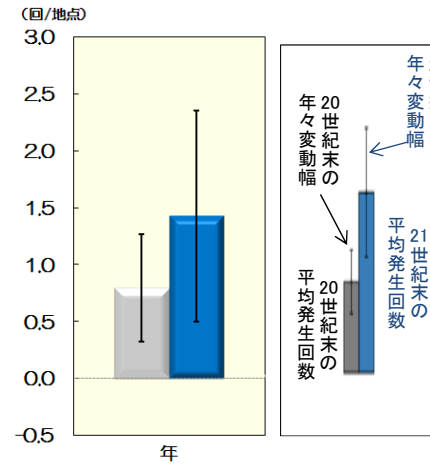
地球温暖化が最も進行する場合の

雨の予測

▷徳島県では1時間降水量50mm以上の発生回数が100年で約1.8倍に

1時間降水量50mm以上の年間発生回数の将来変化の分布図

1時間降水量50mm以上の年間発生回数の変化(徳島県)

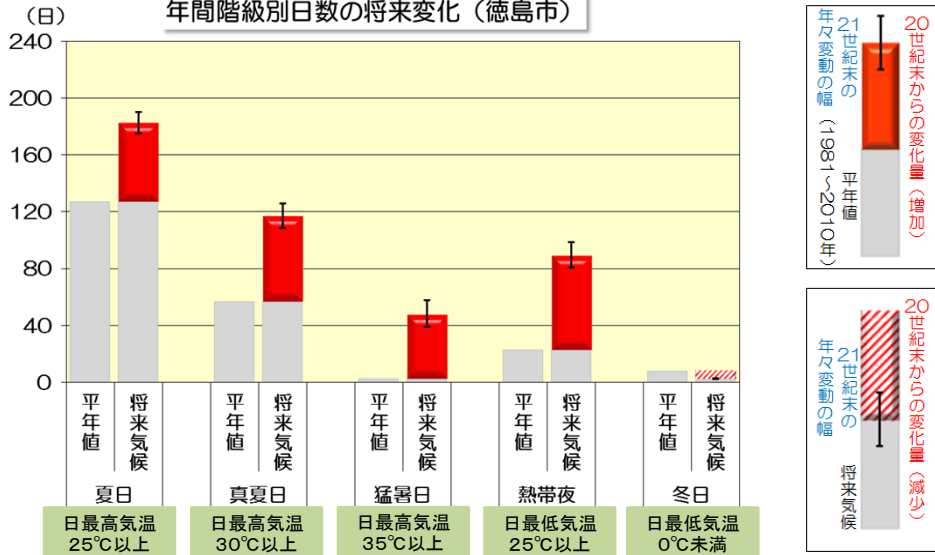


図は、年間の1時間降水量50mm以上の発生回数(上図)と無降水日数(下図)の将来変化(将来気候と現在気候の差)のアメダス地点ごとの予測です。

ただし、増加・減少の傾向が不明瞭であった地点は記載していません。

▷徳島市では猛暑日が100年で年間45日程度増加

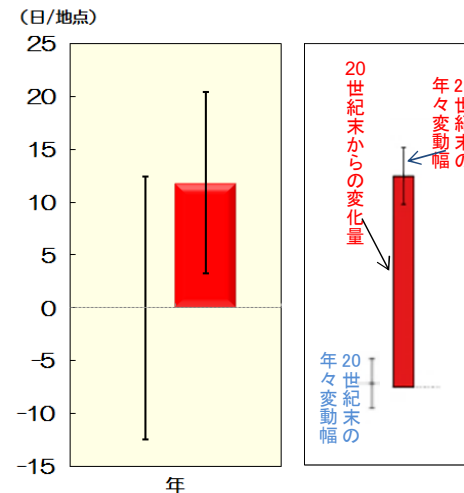
年間階級別日数の将来変化(徳島市)



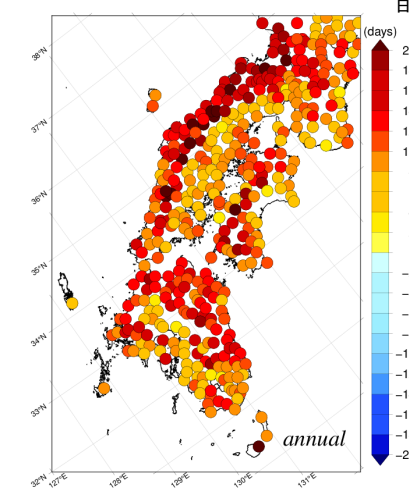
夏日・真夏日・熱帯夜はいずれも55日以上増加します。

▷徳島県では無降水日数も増加

無降水日数の変化(徳島県)



年間無降水日数の将来変化の分布図



<注意>地点別分布図については、地点別の変化傾向に着目せず、府県の平均的な変化傾向を捉えるようにしてください。